

変更契約の調書

工 事 名 南陽市赤湯新学童保育施設新築工事

当初

工 事 場 所 南陽市 長岡 地内

請 負 業 者 名 株式会社 松田組

工 事 種 別 建築一式工事

工 事 概 要 ◎建物概要

- ・用途:学童保育施設(収容70人)
- ・構造:木造平屋建て
- ・敷地面積:1,480.77㎡
- ・延床面積:248.43㎡
- ・上記の建築、電気、機械設備工事及び外構工事

契 約 金 額 93,744,000 円 (消費税及び地方消費税を含む。)

工 期 着工 平成30年9月28日

完成 平成31年3月8日

第1回変更

変 更 年 月 日 平成30年11月12日

契約金額(変更後) 98,683,920円 (消費税及び地方消費税を含む。)

工 期 完成 平成31年3月8日

変 更 理 由

本工事の施工地は、建築物基礎地盤として十分な地耐力が示されない原地盤であることから、地盤改良工事として深層混合処理工法(ウルトラコラム工法)を採用して建築確認を受けており、支持地盤までの改良施工深は、赤湯小学校建設時に実施されたボーリング調査結果と、今年度実施したサウンディング調査結果により、7.5mとして設計されている。

現地より室内配合試験土を採取したところ、地中に施工の支障となる20cm以上の岩石やコンクリート塊が埋没していることが判明した。地盤改良の工法を変更するには建築確認の変更を要し、施工日数の大幅な延長が避けられず、次年度の赤湯地区学童保育事業にも影響することから、工期内の完成を最優先するため、施工範囲の造成土を入れ替えたい。

また、地盤改良の試験掘を実施したところ、施工地の北側(小学校プール側)は概ね設計通りの支持地盤深であったものが、南側(古墳側)に向かって急激に沈降していることが判明したため、施工深を平均9.0mに変更して改良後の地盤強度に万全を期したい。